

令和元年度 垂水市市民満足度調査 結果報告書

令和元年12月
垂水市

はじめに

平成28年度に引き続き、令和元年度垂水市市民満足度調査を行いましたところ、多くの皆様のご協力を頂き、結果報告書を取りまとめることができました。

調査にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

さて、本市では、平成30年度に10年間のまちづくりの指針となる「第5次垂水市総合計画」を策定しました。平成30年度からは前期基本計画に沿って、市民の幸せとまちの将来像「九つの彩り豊かに 健やかな人を育むまち 垂水」の実現に向けてまちづくりに取り組んでおります。

この「市民満足度調査」は、第5次垂水市総合計画に定められた9つの政策を細分化した28の政策展開と3つの「まちづくりの進め方」に関する「重要度」と「満足度」を皆様にお聞きし、全体として市民ニーズがどこにあるかを見極めるために行ったものです。

今回の調査結果により、限られた財源を更に効果的かつ効率的に配分するために、また、各政策展開及びまちづくりの進め方がより充実し、市民の皆様の満足度が向上するよう活用に努めていきたいと考えております。

今後とも市政運営に対しまして、ご意見ご要望をいただければ幸いに存じます。

垂水市長 尾脇 雅弥

目 次

I 調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査の設計	2
3. 調査の内容	3
4. 調査結果の公表	3
II 調査結果	4
1. 回答者の属性分析	4
2. 政策別分析結果	6
■政策別一覧表	7
■政策別個表の記載説明	8
■政策別個表	
(1) 農業における経営基盤確立による経営規模の拡大	9
(2) 農業における担い手の育成・確保	10
(3) 農業における産品の高付加価値化	11
(4) 林業における多面的機能の増加	12
(5) 水産業における経営基盤確立による経営規模の拡大	13
(6) 水産業における産品の高付加価値化	14
(7) 水産業における所得向上の取組	15
(8) 商工業における市内事業者の育成・支援	16
(9) 観光の振興	17
(10) 市内産業の振興と企業誘致の推進	18
(11) 就労の促進と多様な働き方の支援	19
(12) 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進	20
(13) 生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成	21
(14) 生涯学習・生涯スポーツの推進	22
(15) 歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用と芸術文化活動の推進	23
(16) 健康づくりの推進と医療体制の充実	24
(17) 介護予防、生きがいをづくりの推進と居宅サービスの充実	25
(18) 障害者等福祉の充実	26
(19) 地域防災力の向上	27
(20) 災害に強い都市基盤の整備	28
(21) 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	29
(22) 安心して暮らせる社会の構築	30
(23) 環境美化の推進	31
(24) 生活排水処理対策と河川、海の水質保全の推進	32
(25) ごみ処理対策の推進	33
(26) 省エネルギー、再生可能エネルギーの推進	34
(27) 快適な居住環境の整備	35
(28) 交通の利便性の向上	36
3. 今後の居住志向	37
4. 令和元年度市民満足度調査総括	
(1) 調査全般に関する評価	40
(2) 全体分析における政策評価	40
(3) まちづくりの進め方について	42
(4) まとめ	42

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市内に在住する18歳以上の市民を対象として、第5次垂水市総合計画前期基本計画に基づく28の政策展開と3つの「まちづくりの進め方」について、「重要度」及び「満足度」を調査し、現在の市民ニーズがどこにあるのかを見極め、今後の市政展開の参考にし、市民主役の行政を実践するための資料とする。

また、今回の調査結果を有意義なものとするため、限られた財源をいかに効果的かつ効率的に資源配分するかなど、各種計画や予算等に反映し、行政サービスに対する市民の満足度が向上するよう努めるものとする。

2. 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりとする。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	市内在住の18歳以上の市民
③ 対象者数	1,000 人
④ 抽出方法	比例配分法 ※振興会の人数、年代、性別の構成比を考慮し、無作為に抽出
⑤ 調査方法	・ 無記名調査 ・ 政策の5段階評価及び自由記述で構成
⑥ 調査期間	令和元年8月16日（金） ～ 9月3日（火） ※ただし、実績としては、9月30日の回収分までをデータ処理の対象とした。

3. 調査の内容

(1) 調査の対象

- ①第5次垂水市総合計画に掲げた9つの政策による28の政策展開及び3つの「まちづくりの進め方」に対する「重要度」及び「満足度」
- ②今後の居住志向（今後も垂水市に住み続けたいと思うか）
- ③各政策及び市政全般に対する自由意見

(2) 回答の方法

上記①、②は、それぞれ5段階評価とした。また、上記③については、自由記述とした。

(3) 分析の方法

①回答者の属性分析

回答者の属性について、その割合等を集計する。

②政策別分析

政策別に重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の平均値及びその標準偏差を算出し、全政策との相対的な評価を行う。また、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位等を算出する。

また、自由意見は、政策番号を指定して記入された意見の種別やキーワード等を分類し、その傾向を分析する。

これらの分析結果をもとに考察を行い、最終的に評価結果としてまとめる。

④第5次垂水市総合計画基本構想分野別分析

同基本構想に掲げた分野別「政策展開の方向」及び「まちづくりの進め方」に重要度、満足度、ニーズ値の平均値、標準偏差及び相対順位等を算出する。

⑤今後の居住志向に対する分析

回答状況及び属性ごとの集計結果を分析し、また、自由意見を整理するなどして、評価・分析まとめを行う。

⑥令和元年度垂水市市民満足度調査の総括

市民満足度調査結果から見える総括として整理する。

⑦各政策及び市政全般に関する自由意見

記入された意見については、今後の市政運営に対して貴重な意見であることから、意見の原文を、別途「令和元年度市民満足度調査結果報告書 資料集」としてまとめる。

4. 調査結果の公表

調査の結果については、本報告書を市役所情報公開室及びホームページにおいて公開する。

II 調査結果

1. 回答者の属性分析

(1) 調査方法

今回の市民満足度調査は、対象者数を1,000人とし、対象者の抽出法は「比例配分法」を採用した。

なお、調査票の配布及び回収については、各振興会長の協力をいただいた。

(2) 回収数／回収率

今回の回収数（回収率）は、829件（82.9%）となり、となり、平成28年度調査時の892件（89.2%）から63件（6.3%）低下した。

(3) 各区分の属性分析結果について

①男女別：概ね当初の設定割合どおりとなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
男	496（49.6%）	375（45.2%）
女	504（50.4%）	421（50.8%）
未記入等	-	33（4.0%）
合計	1,000（100%）	829（100%）

②年齢別：当初設定割合に比べ、若年層と高年層の割合が低くなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
若年層／18～29歳	77（7.7%）	45（5.4%）
壮年層／30～59歳	393（39.3%）	303（36.6%）
高年層／60歳以上	511（51.1%）	456（55.0%）
未記入等	-	25（3.0%）
合計	1,000（100%）	829（100%）

③職業別：会社員、パート・アルバイトの割合が高く、学生の割合が低くなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
会社員	-	192（23.2%）
自営業	-	85（10.3%）
公務員	-	25（3.0%）
農林水産業	-	35（4.2%）
パート・アルバイト	-	109（13.1%）
専業主婦（主夫）	-	86（10.4%）
学生	-	7（0.8%）
無職	-	204（24.6%）
その他	-	56（6.8%）
未記入等	-	30（3.6%）
合計	1,000（100%）	829（100%）

④地区別：概ね当初の設定割合どおりとなっている。

区分	配布数 (割合)	回答者数 (割合)
新城地区	62 (6.2%)	53 (6.4%)
柊原地区	81 (8.1%)	77 (9.3%)
垂水地区	555 (55.5%)	410 (49.5%)
水之上・大野地区	93 (9.3%)	93 (11.2%)
協和地区	107 (10.7%)	85 (10.3%)
牛根地区全域	102 (10.2%)	84 (10.1%)
未記入等	-	27 (3.3%)
合計	1,000 (100%)	829 (100%)

⑤世帯別：概ね当初の設定割合どおりとなっている。

区分	配布数 (割合)	回答者数 (割合)
単身	-	115 (13.9%)
夫婦	-	270 (32.6%)
親子	-	303 (36.5%)
親・子・孫	-	57 (6.9%)
その他	-	50 (6.0%)
未記入等	-	34 (4.1%)
合計	1,000 (100%)	829 (100%)

⑥居住年数別：居住年数が10年以上の回答者が約84%を占めている。

区分	配布数 (割合)	回答者数 (割合)
5年未満	-	58 (7.0%)
5～9年	-	47 (5.7%)
10～19年	-	86 (10.4%)
20年以上	-	611 (73.7%)
未記入等	-	27 (3.3%)
合計	1,000 (100%)	829 (100%)

2. 政策別分析結果

第5次垂水市総合計画後期基本計画に掲げている9つの政策を細分化した28の政策展開及び3つのまちづくりの進め方について、政策別に重要度、満足度の平均値及び標準偏差を算出した。

なお、この2つの数値だけでは、市民ニーズが詳細に把握できないことから、ニーズ値として、重要度と満足度の差を設定した。これは、この差が大きいほど、重要度と満足度とのかい離があり、早急な改善や対策等を図る必要性を示したものとしている。

相対評価は、それぞれの政策の重要度と満足度の平均値と全ての重要度と満足度の全体平均値との比較である。

この相対評価の評価指標の説明は次のとおりである。

- ◎Ⅰ：重要度もニーズも高い項目
- ◎Ⅱ：ニーズは高い項目
- ◎Ⅲ：重要度は高い項目
- ◎Ⅳ：重要度もニーズも低い項目

また、評価エリアは、分析結果表内のプロット図にあるように4つのエリアに分け、当該政策の重要度とニーズ値の相関関係を示した。

この4つのエリアの説明は次のとおりである。

- ◎Aエリア：満足度も重要度も高い項目／現在の水準を維持する項目
- ◎Bエリア：満足度は低く、重要度は高い項目／優先して改善の必要がある項目
- ◎Cエリア：満足度は高く、重要度は低い項目／改善の必要性が低い項目
- ◎Dエリア：満足度も重要度も低い項目／現状維持、又はあり方について検討する項目

ニーズ分析は、項目単位・属性単位の相対順位を求めている。

項目単位の数字は、同じカテゴリ内（男女別、年齢別等）におけるニーズ値の順位を表している。

また、属性単位の数字は、その属性内において、当該政策のニーズ値が全政策で何位であることを示したものである。

これらのデータをもとに考察したデータの傾向を特記事項にまとめている。

自由意見については、政策番号を指定して記入された意見を意見の種別で分類し、また、内容をキーワードに置き換え、その傾向を記した。（なお、意見の詳細は、「資料集」を参照のこと）

評価結果については、これまでの分析結果をもとに今後取り組む政策推進の方向性について、まとめたものである。

標準偏差について

標準偏差は、統計値や確率変数の散らばり具合（ばらつき）を表す数値のひとつ。

例えば、3人の回答が全て同じ回答（全員が3と回答した場合）の平均値は3.0で、標準偏差はばらつきがないので0となるが、3人の回答がそれぞれ「1／3／5」の場合、平均値は同じく3.0であるが、標準偏差は1.63となる。

【政策別一覧表】

NO.	政策名	重要度				満足度				評価 エリア	二一ズ値		相対 評価
		平均値	平均値-全 体平均	相対順 位	標準 偏差	平均値	平均値-全 体平均	相対順 位	標準偏 差		平均値	相対順 位	
1	農業における経営基盤確立による経営規模の拡大	3.936	-0.180	22位	0.903	3.181	-0.124	21位	0.882	D	0.755	18位	IV
2	農業における担い手の育成・確保	4.012	-0.104	17位	0.901	3.247	-0.058	18位	0.912	D	0.766	17位	IV
3	農業における産品の高付加価値化	3.798	-0.319	26位	0.919	3.155	-0.150	23位	0.876	D	0.643	23位	IV
4	林業における多面的機能の増加	3.731	-0.385	28位	0.961	3.051	-0.254	28位	0.889	D	0.681	22位	IV
5	水産業における経営基盤確立による経営規模の拡大	4.001	-0.115	19位	0.899	3.395	0.090	9位	0.876	C	0.607	24位	IV
6	水産業における産品の高付加価値化	3.987	-0.129	20位	0.907	3.447	0.143	5位	0.851	C	0.540	25位	IV
7	水産業における所得向上の取組	3.855	-0.261	24位	0.915	3.335	0.031	14位	0.815	C	0.520	26位	IV
8	商工業における市内事業者の育成・支援	4.010	-0.106	18位	0.879	3.175	-0.129	22位	0.988	D	0.835	13位	II
9	観光の振興	3.936	-0.180	21位	0.970	3.182	-0.122	20位	1.009	D	0.754	19位	IV
10	市内産業の振興と企業誘致の推進	4.142	0.025	14位	0.858	3.243	-0.062	19位	0.981	B	0.899	9位	I
11	就労の促進と多様な働き方の支援	4.242	0.126	9位	0.848	3.100	-0.204	25位	1.063	B	1.142	3位	I
12	子育て環境の整備・支援と母子保健の推進	4.314	0.198	5位	0.823	3.297	-0.008	17位	0.999	B	1.017	4位	I
13	生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成	4.237	0.120	10位	0.832	3.314	0.009	16位	0.932	A	0.923	8位	I
14	生涯学習・生涯スポーツの推進	3.893	-0.223	23位	0.928	3.380	0.076	12位	0.860	C	0.513	27位	IV
15	歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用と芸術文化活動の推進	3.850	-0.266	25位	0.885	3.442	0.138	6位	0.874	C	0.408	28位	IV
16	健康づくりの推進と医療体制の充実	4.256	0.140	8位	0.838	3.524	0.219	2位	0.976	A	0.732	20位	III
17	介護予防、生きがいづくりの推進と居宅サービスの充実	4.431	0.314	4位	0.771	3.538	0.233	1位	0.980	A	0.893	10位	I
18	障害者等福祉の充実	4.154	0.038	13位	0.806	3.384	0.079	10位	0.887	A	0.770	16位	III
19	地域防災力の向上	4.449	0.333	3位	0.767	3.459	0.155	4位	1.026	A	0.990	6位	I
20	災害に強い都市基盤の整備	4.531	0.415	2位	0.737	3.346	0.041	13位	1.071	A	1.185	1位	I
21	災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	4.579	0.463	1位	0.687	3.418	0.113	8位	1.058	A	1.161	2位	I
22	安心して暮らせる社会の構築	4.268	0.152	7位	0.791	3.383	0.079	11位	0.926	A	0.885	11位	I
23	環境美化の推進	4.213	0.096	11位	0.797	3.440	0.135	7位	0.932	A	0.773	15位	III
24	生活排水処理対策と河川、海の水質保全の推進	4.199	0.083	12位	0.827	3.334	0.030	15位	0.917	A	0.865	12位	I
25	ごみ処理対策の推進	4.290	0.173	6位	0.810	3.506	0.202	3位	1.036	A	0.784	14位	III
26	省エネルギー、再生可能エネルギーの推進	3.784	-0.333	27位	0.913	3.077	-0.227	26位	0.846	D	0.706	21位	IV
27	快適な居住環境の整備	4.029	-0.087	16位	0.876	3.052	-0.252	27位	0.952	D	0.977	7位	II
28	交通の利便性の向上	4.130	0.013	15位	0.843	3.124	-0.181	24位	1.026	B	1.006	5位	I
●	全体平均	4.116	-	-	-	3.305	-	-	-	-	0.812	-	-

【政策別個表の記載説明】

1. 農業における政策の目標 規模の拡大

【政策の概要】

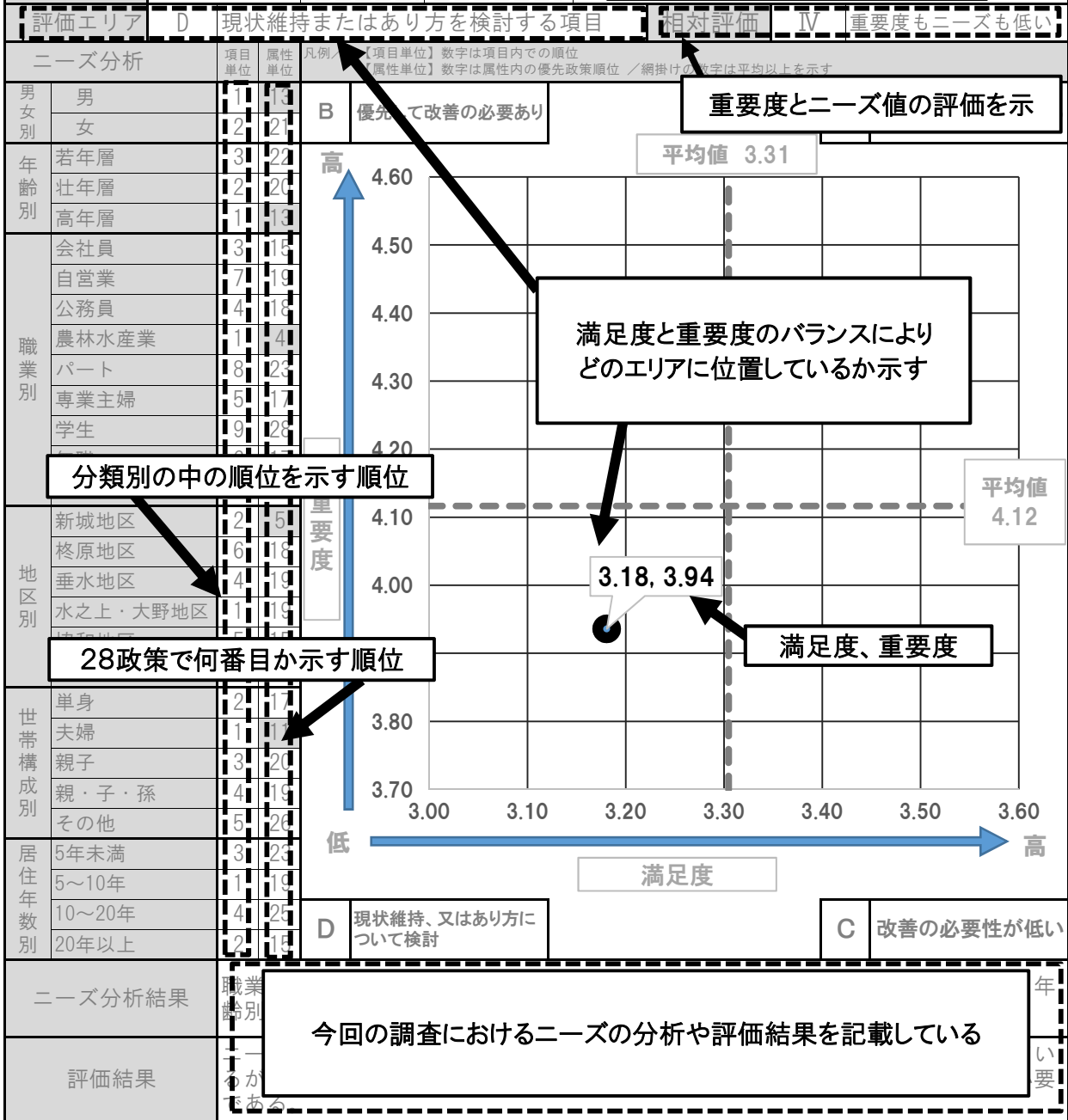
政策の方向	①施設・ ②商品性 営改善に	第5次垂水市総合計画における政策の目標や 現在取り組んでいる事業を記載している	ど経
主な事業	●中山間 事業 ●有害鳥獣被害対策事業 ●畜産業経営安定化関連事業		対策

【分析結果】

各項目5段階評価の平均値			
	平均値	標準偏差	相対順位
満足度	3.18	0.88	21/28
重要度	3.94	0.90	22/28
ニーズ値	0.76	—	18/28

回答のバラつき
数値が大きいほどバラつきがある。

28政策のうち何番目か示す順



1. 農業における経営基盤確立による経営規模の拡大

【政策の概要】

政策の方向	①施設・設備等の整備、有害鳥獣の被害防止などに取り組みます。 ②商品性向上や産地競争力を高める取組を支援し、生産技術向上や生産コスト低減など経営改善に必要な支援を行います。
主な事業	●中山間地域等直接支払事業 ●農地中間管理事業 ●活動火山周辺地域防災営農対策事業 ●有害鳥獣被害対策事業 ●畜産業経営安定化関連事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.18	0.88	21/28	全体平均値：3.30
重要度		3.94	0.90	22/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.76	—	18/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	13	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	21		
年齢別	若年層	3	22	高	平均値 3.31
	壮年層	2	20		
	高年層	1	13		
職業別	会社員	3	15	重要度	平均値 4.12
	自営業	7	19		
	公務員	4	18		
	農林水産業	1	4		
	パート	8	23		
	専業主婦	5	17		
	学生	9	28		
	無職	6	17		
	その他	2	17		
地区別	新城地区	2	5	低	満足度
	柘原地区	6	18		
	垂水地区	4	19		
	水之上・大野地区	1	19		
	協和地区	5	15		
	牛根地区全域	3	21		
世帯構成別	単身	2	17	D 現状維持、又はあり方について検討	C 改善の必要性が低い
	夫婦	1	11		
	親子	3	20		
	親・子・孫	4	19		
	その他	5	26		
居住年数別	5年未満	3	23	高	満足度
	5～10年	1	19		
	10～20年	4	25		
	20年以上	2	15		
ニーズ分析結果	職業別では農林水産業、地区別では新城地区におけるニーズが高くなっており、年齢別では、年齢層が高くなるほどニーズが高くなっている。				
評価結果	ニーズが比較的 low、現状維持、又はあり方について検討が必要な政策となっているが、本市の基幹産業の一つであることから、より満足度を上昇させる取組が必要である。				

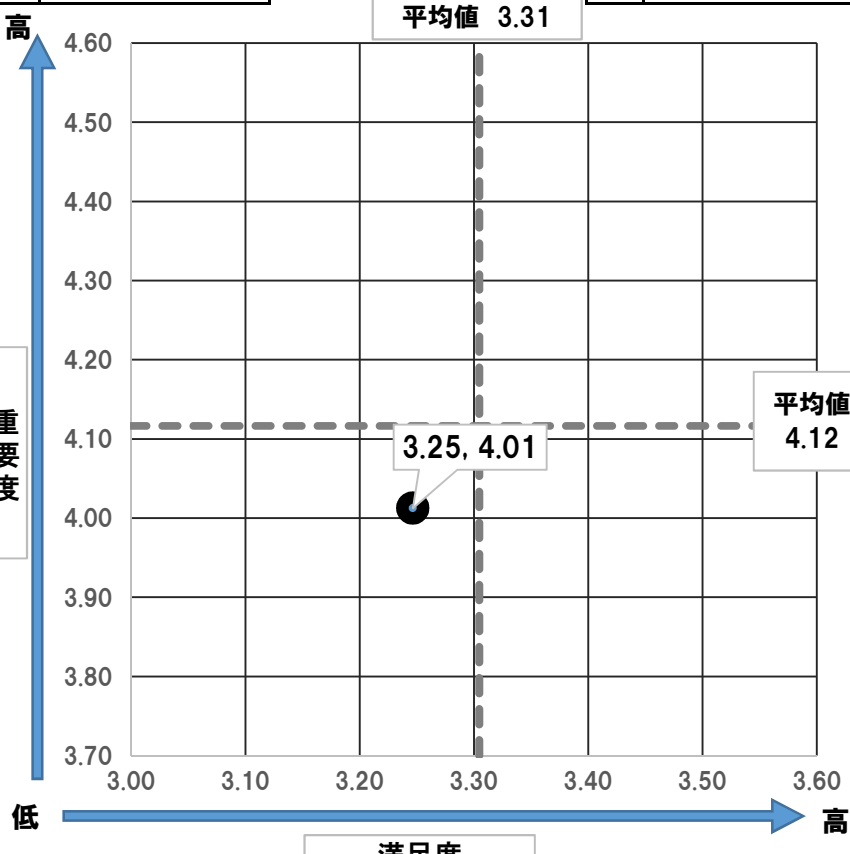
2. 農業における担い手の育成・確保

【政策の概要】

政策の方向	①働く場としての魅力を高め、一次産業の魅力とあわせて情報発信することにより、女性や若者、移住者を含めた後継者、新規就農者の育成・確保に努めます。 ②事業拡大の支援により、雇用を生み出します。
主な事業	●新規就農支援事業 ●担い手育成推進活動支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.25	0.91	18/28	全体平均値：3.30
重要度		4.01	0.90	17/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.77	—	17/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	16	B	優先して改善の必要あり
	女	2	17		
年齢別	若年層	3	19	高	A
	壮年層	2	19		
	高年層	1	12		
職業別	会社員	6	19	重要度	現在の水準を維持する
	自営業	7	15		
	公務員	4	13		
	農林水産業	1	3		
	パート	5	17		
	専業主婦	3	10		
	学生	2	10		
	無職	9	19		
	その他	8	22		
地区別	新城地区	5	9	満足度	D
	柘原地区	6	24		
	垂水地区	3	17		
	水之上・大野地区	1	18		
	協和地区	2	20		
	牛根地区全域	4	12		
世帯構成別	単身	4	21	C	改善の必要性が低い
	夫婦	1	15		
	親子	2	16		
	親・子・孫	3	17		
	その他	5	20		
居住年数別	5年未満	2	19	D	現状維持、又はあり方について検討
	5～10年	1	16		
	10～20年	4	20		
	20年以上	3	16		
ニーズ分析結果	職業別では農林水産業におけるニーズが非常に高くなっており、公務員や専業主婦でも比較的ニーズが高い。地区別では新城地区で高い傾向にある。				
評価結果	重要度、満足度がともに比較的低く、現状維持、又はあり方について検討が必要な政策となっているが、農林水産業者のニーズは非常に高く、農業や農地維持のために改善の必要がある。				



3. 農業における産品の高付加価値化

【政策の概要】

政策の方向	①県の農林水産物認証取得の支援や新たな技術の導入により、安全安心なものを求める消費者ニーズに対応するとともに、農産物の高品質化を図ります。 ②消費者ニーズを的確に把握した6次産業化を支援することで農産物の高付加価値化を進めます。
主な事業	●6次産業化及び企業農業創出事業 ●食育・地産地消推進事業 ●新規作物推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.15	0.88	23/28	全体平均値：3.30
重要度		3.80	0.92	26/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.64	—	23/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	22	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	24		
年齢別	若年層	3	27	高	平均値 3.31
	壮年層	1	21		
	高年層	2	23		
職業別	会社員	4	22	重要度	平均値 4.12
	自営業	5	20		
	公務員	2	16		
	農林水産業	1	9		
	パート	6	25		
	専業主婦	3	16		
	学生	9	24		
	無職	8	23		
その他	7	26			
地区別	新城地区	2	12	低	満足度
	柘原地区	5	21		
	垂水地区	1	22		
	水之上・大野地区	3	24		
	協和地区	4	23		
	牛根地区全域	6	23		
世帯構成別	単身	1	22	D 現状維持、又はあり方について検討	C 改善の必要性が低い
	夫婦	2	23		
	親子	3	21		
	親・子・孫	4	21		
	その他	5	24		
居住年数別	5年未満	2	22	高	満足度
	5～10年	1	19		
	10～20年	4	22		
	20年以上	3	23		
ニーズ分析結果	各属性において、全体的にニーズが低い傾向であるが、職業別では農林水産業、地区別では新城地区において比較的ニーズは高くなっている。				
評価結果	重要度、満足度がともに低いが、農林水産業者のニーズは高く、一定の成果が見られることから、消費者ニーズを的確に把握した6次産業化を支援する必要がある。				

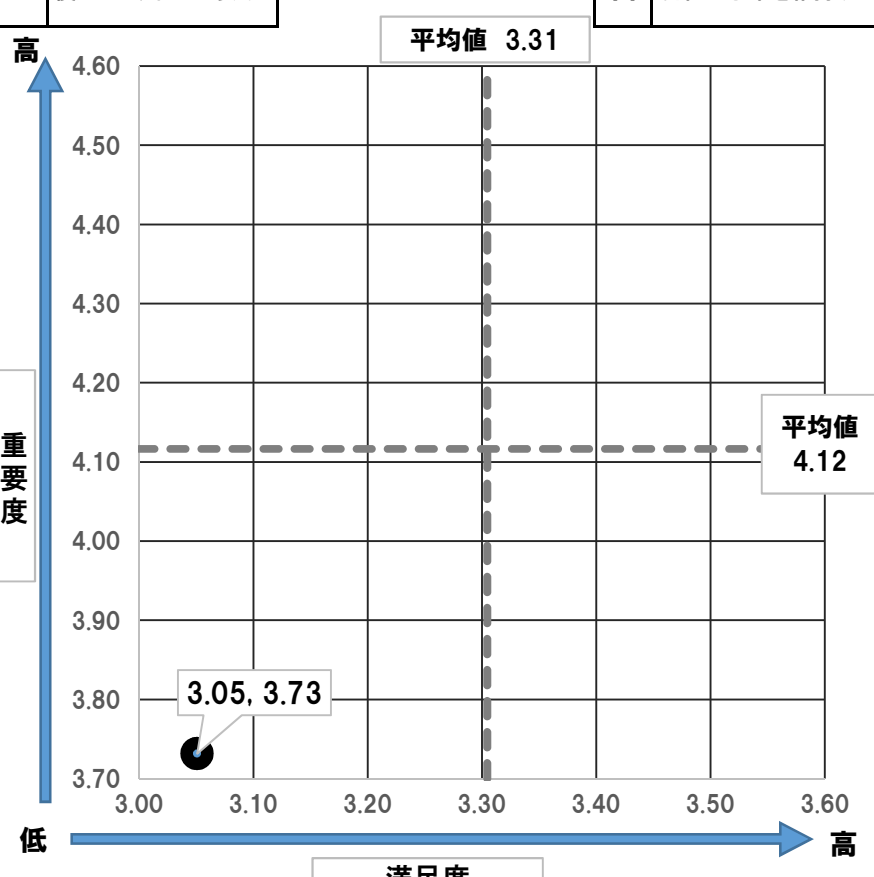
4. 林業における多面的機能の増加

【政策の概要】

政策の方向	①関係機関と連携し、森林の適正管理に向けた計画的かつ積極的な整備や主伐後の再造林の推進を通じて、森林の持つ多面的な機能の増進を図ります。
主な事業	●間伐実施事業 ●多面的機能支払交付金事業 ●林道整備事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.05	0.89	28/28	全体平均値：3.30
重要度		3.73	0.96	28/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.68	—	22/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	23	B	優先して改善の必要あり
	女	2	22		
年齢別	若年層	3	22	高	A
	壮年層	2	24		
	高年層	1	18		
職業別	会社員	6	24	重要度	A
	自営業	7	22		
	公務員	3	22		
	農林水産業	1	5		
	パート	4	21		
	専業主婦	2	21		
	学生	9	24		
	無職	5	16		
	その他	8	25		
地区別	新城地区	6	24	満足度	C
	柊原地区	5	19		
	垂水地区	3	23		
	水之上・大野地区	1	22		
	協和地区	4	16		
	牛根地区全域	2	22		
世帯構成別	単身	1	13	D	現状維持、又はあり方について検討
	夫婦	2	20		
	親子	3	23		
	親・子・孫	4	23		
	その他	5	21		
居住年数別	5年未満	1	15	C	改善の必要性が低い
	5～10年	2	18		
	10～20年	4	24		
	20年以上	3	22		
ニーズ分析結果	各属性において、全体的にニーズが低い傾向であるが、職業別では農林水産業でニーズが高くなっている。				
評価結果	重要度、満足度がともに非常に低いが、農林水産業者のニーズは高く、一定の成果が見られることから、消費者ニーズを的確に把握した6次産業化を支援する必要がある。				



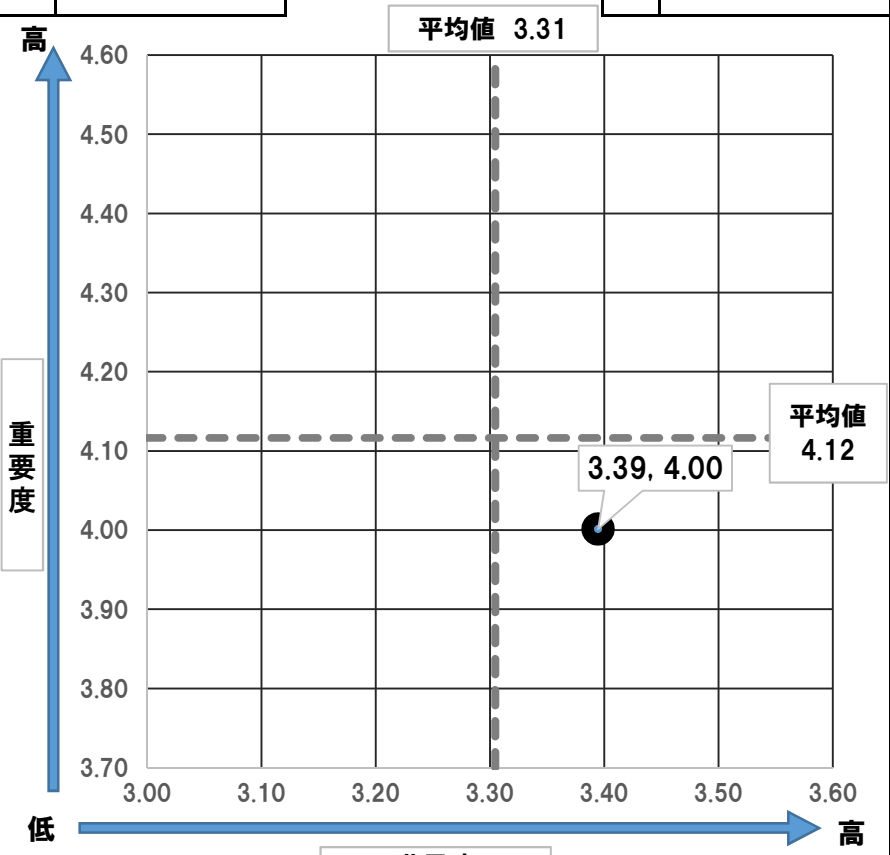
5. 水産業における経営基盤確立による経営規模の拡大

【政策の概要】

政策の方向	①地元の水産業者との連携により国外輸出を推進し、販路の拡充を図ります。 ②漁業施設整備に関し、国や県の事業を活用し整備に努めます（種子島周辺漁業対策事業等）。
主な事業	●種苗放流事業 ●サメ駆除事業 ●人工種苗購入事業 ●桜島軽石除去事業 ●水産多面的機能発揮対策事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.39	0.88	9/28	全体平均値：3.30
重要度		4.00	0.90	19/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.61	—	24/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	C	改善の必要性が低い項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	24	B	優先して改善の必要あり
	女	2	23		
年齢別	若年層	1	16	高	A
	壮年層	2	23		
	高年層	3	24		
職業別	会社員	4	23	重要度	現在の水準を維持する
	自営業	7	25		
	公務員	1	12		
	農林水産業	2	25		
	パート	6	24		
	専業主婦	5	23		
	学生	9	24		
	無職	8	24		
	その他	3	21		
地区別	新城地区	5	17	満足度	C
	柊原地区	4	20		
	垂水地区	2	24		
	水之上・大野地区	1	23		
	協和地区	3	24		
	牛根地区全域	6	24		
世帯構成別	単身	4	24	D	現状維持、又はあり方について検討
	夫婦	1	24		
	親子	2	24		
	親・子・孫	3	22		
	その他	5	23		
	居住年数別	5年未満	2		
	5～10年	1	21		
	10～20年	3	21		
	20年以上	4	24		
ニーズ分析結果		各属性において、全体的にニーズが低い傾向である。			
評価結果		重要度は比較的低い傾向にあるが、満足度は高い傾向にあることから、改善の必要性が低いと評価できるが、本市の基幹産業の一つであることから、より高い成果が得られるように取組が必要である。			



6. 水産業における産品の高付加価値化

【政策の概要】

政策の方向	①未利用魚を利用した新たな商品開発等、6次産業化を推進します。 ②認証取得や人工種苗導入等の支援を行い、安全安心な産品の生産を推進します。
主な事業	●水産振興支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.45	0.85	5/28	全体平均値：3.30
重要度		3.99	0.91	20/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.54	—	25/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	C	改善の必要性が低い項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	25	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	26		
年齢別	若年層	1	20	高	平均値 3.31
	壮年層	3	25		
	高年層	2	26		
職業別	会社員	6	26	重要度	平均値 4.12
	自営業	8	26		
	公務員	2	20		
	農林水産業	1	21		
	パート	7	27		
	専業主婦	5	27		
	学生	4	17		
	無職	9	25		
	その他	3	24		
地区別	新城地区	3	20	低	満足度
	柊原地区	4	26		
	垂水地区	1	25		
	水之上・大野地区	5	28		
	協和地区	2	26		
	牛根地区全域	6	26		
世帯構成別	単身	2	26	D 現状維持、又はあり方について検討	C 改善の必要性が低い
	夫婦	1	26		
	親子	3	26		
	親・子・孫	4	26		
	その他	5	27		
居住年数別	5年未満	2	27	高	満足度
	5～10年	1	22		
	10～20年	3	23		
	20年以上	4	26		
ニーズ分析結果	各属性において、全体的にニーズが低い傾向である。				
評価結果	重要度は比較的低い傾向にあるが、満足度は高い傾向にあり、一定の成果が見られるが、引き続き6次産業化を進め本市の特産品を活かし価値を高める必要がある。				

7. 水産業における所得向上の取組

【政策の概要】

政策の方向	①所得向上に向けた計画である「浜プラン」を確実に実行し、漁業者所得を5年で10%増額させるという計画目標に向けて支援を行います。
主な事業	●販路拡大支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.34	0.81	14/28	全体平均値：3.30
重要度		3.85	0.92	24/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.52	—	26/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	C	改善の必要性が低い項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	26	B	優先して改善の必要あり
	女	2	27		
年齢別	若年層	3	26	高	A
	壮年層	2	27		
	高年層	1	25		
職業別	会社員	3	25	重要度	現在の水準を維持する
	自営業	4	24		
	公務員	2	23		
	農林水産業	1	22		
	パート	5	26		
	専業主婦	6	28		
	学生	9	22		
	無職	7	26		
	その他	8	28		
地区別	新城地区	6	26	低	満足度
	柊原地区	5	28		
	垂水地区	3	27		
	水之上・大野地区	4	27		
	協和地区	2	21		
	牛根地区全域	1	25		
世帯構成別	単身	2	25	D	現状維持、又はあり方について検討
	夫婦	1	25		
	親子	4	27		
	親・子・孫	3	25		
	その他	5	25		
居住年数別	5年未満	1	26	C	改善の必要性が低い
	5～10年	2	26		
	10～20年	4	27		
	20年以上	3	25		
ニーズ分析結果	各属性において、全体的にニーズが低い傾向である。				
評価結果	重要度とニーズ値が低く、改善の必要性が低い政策と評価できるが、地域資源を活かすという観点から、より高い成果が得られるよう取り組む必要がある。				

8. 商工業における市内事業者の育成・支援

【政策の概要】

政策の方向	①市内事業者の経営安定化、商品開発や付加価値の向上、販路拡大に向けた支援を行うとともに、特産品の積極的なプロモーションに取り組みます。 ②市民の買い物の利便性向上や特色ある商店街の形成、空き店舗対策に取り組みます。
主な事業	●商工会振興資金利子補給事業 ●プレミアム商品券発行事業 ●特産品販路拡大支援事業 ●空き店舗対策支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.18	0.99	22/28	全体平均値：3.30
重要度		4.01	0.88	18/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.83	—	13/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	II
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	14	B	優先して改善の必要あり
	女	2	13		
年齢別	若年層	2	7	高	A
	壮年層	1	14		
	高年層	3	16		
職業別	会社員	3	11	重要度	現在の水準を維持する
	自営業	8	12		
	公務員	4	8		
	農林水産業	1	10		
	パート	7	15		
	専業主婦	5	12		
	学生	6	13		
	無職	9	21		
	その他	2	13		
地区別	新城地区	6	11	低	D
	柊原地区	5	13		
	垂水地区	2	13		
	水之上・大野地区	1	10		
	協和地区	3	17		
	牛根地区全域	4	9		
世帯構成別	単身	3	12	満足度	C
	夫婦	2	12		
	親子	1	12		
	親・子・孫	5	24		
	その他	4	16		
居住年数別	5年未満	1	7	高	現状維持、又はあり方について検討
	5～10年	2	10		
	10～20年	3	14		
	20年以上	4	13		
ニーズ分析結果	年齢別を見ると、若年層ほどニーズが高い傾向にあり、居住年数に関わらず比較的ニーズが高い傾向にある。				
評価結果	重要度、満足度がともに低い傾向であるが、ニーズ値が比較的高いことから、商品開発や付加価値の向上、販路拡大に向けた支援を進める必要がある。				

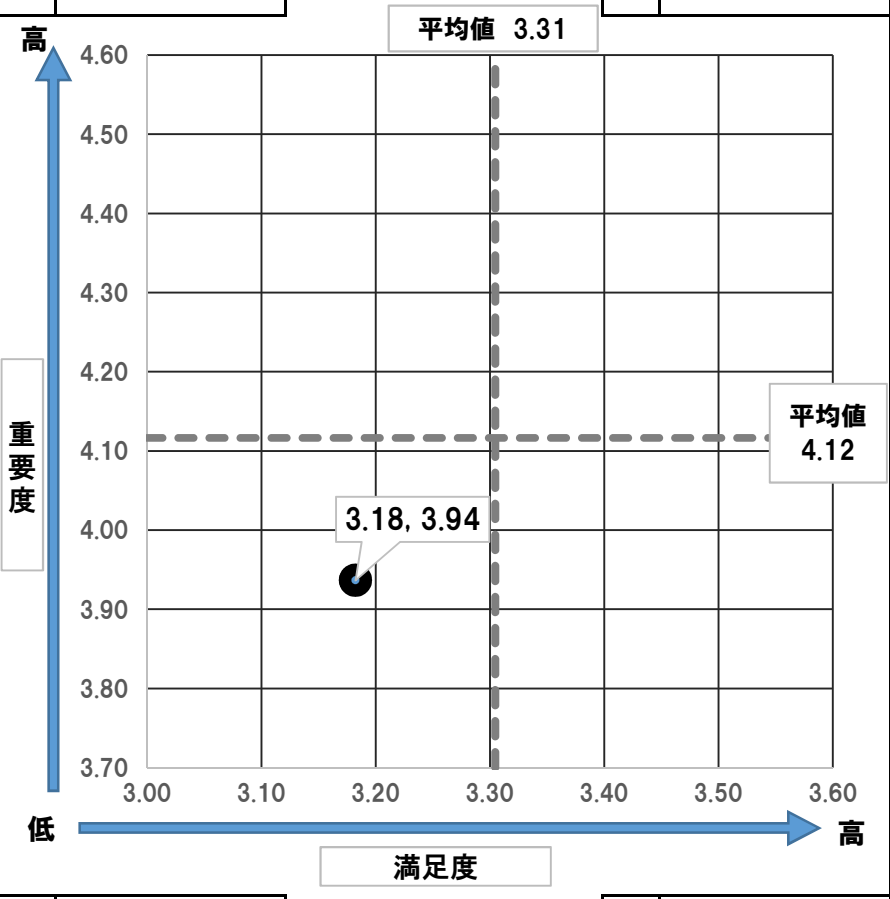
9. 観光の振興

【政策の概要】

政策の方向	① イベントの魅力向上や各種ツーリズムの受入体制の充実、更に広域観光の推進を図りながら、積極的な情報発信やシティプロモーションに取り組みます。 ② 各種誘客事業や市産品の物産販売事業の強化につながる観光拠点の開発・整備を推進します。
主な事業	● しおかぜ街道整備事業 ● ツーリズム推進事業 ● 垂水千本イチョウ園整備事業 ● 大隅広域観光推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考		
満足度		3.18	1.01	20/28	全体平均値：3.30		
重要度		3.94	0.97	21/28	全体平均値：4.12		
ニーズ値		0.75	—	19/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い		
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	1	19	B	優先して改善の必要あり		
	女	2	18				
年齢別	若年層	1	6	高	↑		
	壮年層	2	16				
	高年層	3	20				
職業別	会社員	2	12			重要度	↑
	自営業	7	21				
	公務員	6	21				
	農林水産業	1	11				
	パート	4	18				
	専業主婦	3	13				
	学生	9	24				
	無職	8	20				
その他	5	20					
地区別	新城地区	5	21	低	→		
	柊原地区	4	17				
	垂水地区	2	14				
	水之上・大野地区	1	17				
	協和地区	3	25				
	牛根地区全域	6	16				
世帯構成別	単身	3	19	D	現状維持、又はあり方について検討		
	夫婦	4	22				
	親子	1	14				
	親・子・孫	2	15				
	その他	5	17				
居住年数別	5年未満	1	8	C	改善の必要性が低い		
	5～10年	2	13				
	10～20年	3	15				
	20年以上	4	20				
ニーズ分析結果		若年層及び居住年数5年未満の層においてニーズが高く、親子世帯においても比較的ニーズが高い傾向にある。					
評価結果		重要度、満足度がともに比較的低く、ニーズ値も比較的低いことから、現状維持、又はあり方について検討が必要であるが、賑わいのあるまちづくりを推進するため情報発信や誘客事業を強化し満足度を高める必要がある。					



10. 市内産業の振興と企業誘致の推進

【政策の概要】

政策の方向	①市内事業者の支援と事業者間連携の推進による産業の振興に取り組みます。 ②企業誘致の促進、既進出企業へのフォローアップにより、雇用創出・拡充を図ります。
主な事業	●雇用創出関連事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考		
満足度		3.24	0.98	19/28	全体平均値： 3.30		
重要度		4.14	0.86	14/28	全体平均値： 4.12		
ニーズ値		0.90	—	9/28	全体平均値： 0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	B	優先して改善を要する項目		相対評価	I	重要度もニーズも高い	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	1	8	B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する
	女	2	11				
年齢別	若年層	3	12	高	↑	4.60	↓
	壮年層	1	12				
	高年層	2	8				
職業別	会社員	7	13	重要度	↑	4.10	↓
	自営業	9	17				
	公務員	1	5				
	農林水産業	6	13				
	パート	3	7				
	専業主婦	2	9				
	学生	4	10				
	無職	8	6				
	その他	5	12				
地区別	新城地区	6	19	低	←	3.70	→
	柊原地区	5	8				
	垂水地区	2	10				
	水之上・大野地区	1	5				
	協和地区	4	8				
	牛根地区全域	3	15				
世帯構成別	単身	4	9	高	↑	4.60	↓
	夫婦	1	6				
	親子	2	11				
	親・子・孫	3	11				
	その他	5	18				
居住年数別	5年未満	1	5	低	←	3.70	→
	5～10年	2	12				
	10～20年	4	12				
	20年以上	3	8				
ニーズ分析結果	男女別、年齢別、住居年数別の各属性において比較的ニーズが高い傾向である。						
評価結果	多少のばらつきはあるが、満足度が比較的低く、ニーズ値が全体的に高いため、企業誘致の促進や雇用創出・拡充を優先して改善の必要がある。						

11. 就労の促進と多様な働き方の支援

【政策の概要】

政策の方向	①高齢者や子育て世代、若者、移住者など多様な人材のニーズに応じた多様な就労形態が求められており、働き手のニーズを把握し、事業者や関係機関と情報共有を図りながら、連携し就労しやすい環境づくりを支援します。 ②市内で需要の高い職種を把握し、資格取得や技術習得支援により人材育成を促進するとともに、事業者と人材のマッチングにつなげます。 ③高校生の市内での就職に向けて市内事業者の特長や求人情報を高校生と保護者に分かりやすく周知します。
主な事業	●地方創生関連事業 ●垂水市地域若者「就地」拡大プロジェクト事業 ●公営社団法人垂水市シルバー人材センター補助事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.10	1.06	25/28	全体平均値：3.30
重要度		4.24	0.85	9/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		1.14	—	3/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値=重要度-満足度
評価エリア	B	優先して改善を要する項目		相対評価	I
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	2	B	優先して改善の必要あり
	女	2	3		
年齢別	若年層	2	1	高	A
	壮年層	1	2		
	高年層	3	3		
職業別	会社員	3	1	重要度	現在の水準を維持する
	自営業	8	7		
	公務員	7	6		
	農林水産業	4	2		
	パート	2	1		
	専業主婦	5	4		
	学生	1	1		
	無職	9	4		
地区別	新城地区	6	8	低	D
	柁原地区	5	2		
	垂水地区	2	2		
	水之上・大野地区	1	1		
	協和地区	4	5		
世帯構成別	単身	4	1	高	C
	夫婦	3	3		
	親子	1	1		
	親・子・孫	2	3		
居住年数別	5年未満	1	1	満足度	改善の必要性が低い
	5～10年	2	2		
	10～20年	3	2		
	20年以上	4	3		
ニーズ分析結果		全ての項目、属性においてニーズが非常に高い傾向にある。			
評価結果		ばらつきがあるものの満足度が非常に低く、ニーズ値が非常に高い。各世代が就労環境づくりについて求めており、人材育成を含めた雇用創出・拡充が必要である。			

12. 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進

【政策の概要】

政策の方向	①子どもを安心して産み育てられるように、産前・産後の医療・相談体制の拡充や家事支援、親同士がつながる場の創出等、母と子の保健・医療の充実を図りつつ、心理的・経済的負担の軽減を図ります。 ②保護者、地域、学校ぐるみで、見守り・子育ての環境づくりを進めます。
主な事業	●病児・病後児保育事業 ●特別保育事業 ●子育て支援センター事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考		
満足度		3.30	1.00	17/28	全体平均値：3.30		
重要度		4.31	0.82	5/28	全体平均値：4.12		
ニーズ値		1.02	—	4/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	B	優先して改善を要する項目		相対評価	I	重要度もニーズも高い	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	2	7	B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する
	女	1	4				
年齢別	若年層	3	8	高	↑	重要度	↓
	壮年層	1	4				
	高年層	2	6				
職業別	会社員	6	7	3.30, 4.31	●	3.30	4.31
	自営業	8	8				
	公務員	5	3				
	農林水産業	7	12				
	パート	2	3				
	専業主婦	4	6				
	学生	1	3				
	無職	9	7				
	その他	3	4				
地区別	新城地区	5	4	3.30	4.12	4.12	
	柘原地区	4	5				
	垂水地区	2	4				
	水之上・大野地区	1	6				
	協和地区	6	7				
	牛根地区全域	3	7				
世帯構成別	単身	3	3	3.30	4.12	4.12	
	夫婦	4	7				
	親子	1	4				
	親・子・孫	2	5				
	その他	5	10				
居住年数別	5年未満	2	4	3.30	4.12	4.12	
	5～10年	1	1				
	10～20年	3	7				
	20年以上	4	5				
ニーズ分析結果	全ての項目、属性においてニーズが高い傾向にあり、特に居住年数5年～10年の属性においては非常にニーズが高い傾向である。						
評価結果	優先して改善の必要があり、高いニーズがある。本市のまちづくりの目標の一つである「次世代の担い手を育成・支援するまち」を実現するためにも改善が必要である。						

13. 生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成

【政策の概要】

政策の方向	①子どもに、知・徳・体の調和がとれ、未来を切り拓く生きる力を育むため、自ら学び磨き高めあう授業づくりに努めます。 ②安全安心な教育環境と、教育内容に応じた教具・教材、ICT関連整備の充実を図ります。 ③幼児期から高校までの各ライフステージに応じ、各教育機関が相互に連携・補完しながら、一人ひとりにあった教育を推進します。 ④垂水高校支援については、経済面での支援を継続するとともに、情報発信によるイメージアップを図っていきます。
主な事業	●放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） ●垂水高校振興対策事業 ●特別支援教育支援員設置事業 ●スクールカウンセラー派遣事業 ●たるたる奨学金 ●青少年海外派遣事業夢の翼

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考	
満足度	3.31	0.93	16/28	全体平均値：3.30	
重要度	4.24	0.83	10/28	全体平均値：4.12	
ニーズ値	0.92	—	8/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度	
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価 I 重要度もニーズも高い	
ニーズ分析	項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男 女	2 1	11 7	B 優先して改善の必要あり A 現在の水準を維持する	
年齢別	若年層 壮年層 高年層	3 1 2	13 7 10	<p>高</p> <p>重要度</p> <p>満足度</p> <p>低</p> <p>高</p> <p>平均値 3.31</p> <p>3.31, 4.24</p> <p>平均値 4.12</p>	
職業別	会社員 自営業 公務員 農林水産業 パート 専業主婦 学生 無職 その他	3 4 5 7 1 2 9 8 6	6 6 10 23 6 8 20 14 16		
地区別	新城地区 柊原地区 垂水地区 水之上・大野地区 協和地区 牛根地区全域	4 6 1 2 5 3	6 11 5 16 11 20		
世帯構成別	単身 夫婦 親子 親・子・孫 その他	4 3 1 2 5	15 14 6 8 19		
居住年数別	5年未満 5～10年 10～20年 20年以上	2 1 3 4	9 5 10 9		
ニーズ分析結果	男女別、年齢別、住居年数別の各属性においてニーズが高く、職業別では農林水産業を除く各属性においてニーズが高い傾向にある。				
評価結果	優先して改善の必要がある政策であるが、小学校、中学校における改修等は着実に行われ、夢や目標を持つ子どもの増加が見られることから引き続き取り組み、更なる改善を行う必要がある。				
			D 現状維持、又はあり方について検討		C 改善の必要性が低い

14. 生涯学習・生涯スポーツの推進

【政策の概要】

政策の方向	①地域全体で生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動、社会・生活・自然体験事業を進めるための環境整備と学習・活動成果の活用を促進します。 ②子どもから高齢者、勤労者も参加し、生きがいや健康づくり、地域の交流の場となるよう、参加しやすい仕組みづくりを進めます。
主な事業	●市民館・地区公民館運営管理事業 ●市立図書館運営事業 ●垂水市人権同和教育事業 ●生涯学習事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.38	0.86	12/28	全体平均値：3.30
重要度		3.89	0.93	23/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.51	—	27/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	C	改善の必要性が低い項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	27	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	1	25		
年齢別	若年層	2	24	高	平均値 3.31
	壮年層	3	26		
	高年層	1	27		
職業別	会社員	6	27	重要度	平均値 4.12
	自営業	7	27		
	公務員	5	25		
	農林水産業	4	27		
	パート	2	22		
	専業主婦	3	25		
	学生	8	21		
	無職	9	27		
	その他	1	23		
地区別	新城地区	6	27	低	満足度
	柘原地区	2	22		
	垂水地区	3	26		
	水之上・大野地区	1	26		
	協和地区	4	27		
	牛根地区全域	5	27		
世帯構成別	単身	3	27	D 現状維持、又はあり方について検討	C 改善の必要性が低い
	夫婦	2	27		
	親子	1	25		
	親・子・孫	5	27		
	その他	4	22		
	居住年数別	5年未満	1		
	5～10年	2	27		
	10～20年	4	26		
	20年以上	3	27		
ニーズ分析結果	各属性において、全体的にニーズが低い傾向である。				
評価結果	生涯学習市民講座の要望調査を実施し、講座内容に反映させたこともあり、満足度が比較的高く、改善の必要性が低い取り組みとなっている。				

15. 歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用と芸術文化活動の推進

【政策の概要】

政策の方向	①伝統芸能・行事、文化財等を生かしたまちづくりを振興するほか、地域文化の情報発信を促進します。また、文化財等の保存・活用を図るため、この文化的価値を広く一般市民に周知するとともに、地域や市民、事業者等による支援体制の構築を図ります。 ②文化・芸術活動を発表する機会を提供し、あわせて多くの市民が触れることができるよう、周知・広報を充実します。また、自然環境や風土を活かした新たな文化・芸術活動を発掘し、創造への支援を行うとともに、企画やイベント等の連携により、特に子どもや若者の参加促進を図ります。
主な事業	●瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール事業 ●指定文化財・埋蔵文化財事業 ●文化振興事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.44	0.87	6/28	全体平均値：3.30
重要度		3.85	0.88	25/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.41	—	28/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	C	改善の必要性が低い項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	28	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	1	28		
年齢別	若年層	3	28	<p style="text-align: center;">高</p> <p style="text-align: center;">平均値 3.31</p> <p style="text-align: right;">平均値 4.12</p> <p style="text-align: center;">3.44, 3.85</p> <p style="text-align: center;">満足度</p> <p style="text-align: center;">低</p> <p style="text-align: center;">高</p>	
		壮年層	2		28
		老年層	1		28
職業別	会社員	6	28		
	自営業	5	28		
	公務員	9	28		
	農林水産業	3	28		
	パート	2	28		
	専業主婦	1	24		
	学生	8	23		
地区別	無職	7	28		
	その他	4	27		
	新城地区	6	28		
	柘原地区	2	27		
世帯構成別	垂水地区	3	28		
	水之上・大野地区	1	25		
	協和地区	4	28		
居住年数別	牛根地区全域	5	28		
	単身	4	28		
	夫婦	1	28		
	親子	2	28		
	親・子・孫	3	28		
その他	その他	5	28		
	5年未満	3	28		
	5～10年	2	28		
	10～20年	4	28		
	20年以上	1	28		
				D 現状維持、又はあり方について検討	C 改善の必要性が低い
ニーズ分析結果	各属性において、全体的にニーズが非常に低い傾向である。				
評価結果	満足度は高い傾向にあるが、重要度が低くニーズ値が最も低いことから改善の必要性が低いとされる取組である。				

16. 健康づくりの推進と医療体制の充実

【政策の概要】

政策の方向	①若いうちから健康づくりに関心を持ち、自分の体と心の状態を把握するため特定健診や特定保健指導など利用しやすい体制づくり（ポピュレーションアプローチ※）を推進するとともに、食事や運動を活用した健康づくりを推進します。また、保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づいて、レセプトや健診結果等のデータを活用した生活習慣病対策を進めます。 ②市民が安心して地域で医療・介護が受けられるよう、地域にあった医療体制を確保します。
主な事業	●たるみず元気プロジェクト ●特定健診事業 ●感染症予防事業 ●母子保健事業 ●健康増進事業 ●不妊治療助成事業 ●垂水中央病院管理運営事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.52	0.98	2/28	全体平均値： 3.30
重要度		4.26	0.84	8/28	全体平均値： 4.12
ニーズ値		0.73	—	20/28	全体平均値： 0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	Ⅲ 重要度は高いがニーズは低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	15	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	19		
年齢別	若年層	1	10		
	壮年層	2	17		
	高年層	3	22		
職業別	会社員	3	17		
	自営業	7	23		
	公務員	9	24		
	農林水産業	4	24		
	パート	5	19		
	専業主婦	8	26		
	学生	2	9		
	無職	6	13		
その他	1	10			
地区別	新城地区	6	25		
	柘原地区	3	7		
	垂水地区	5	21		
	水之上・大野地区	1	21		
	協和地区	4	14		
牛根地区全域	2	19			
世帯構成別	単身	5	23		
	夫婦	4	21		
	親子	3	19		
	親・子・孫	2	16		
	その他	1	4		
居住年数別	5年未満	1	20		
	5～10年	3	24		
	10～20年	4	18		
	20年以上	2	19		
ニーズ分析結果	全体的には比較的ニーズが低い傾向にあるが、地区別では、柘原地区、協和地区においてニーズが比較的高い傾向にある。				
評価結果	重要度が高く、満足度も非常に高いためニーズ値は比較的低下している。たるみず元気プロジェクトを中心に良い評価の意見も多かったが、更なる要望も多いことから、現在の水準を維持しつつ更なる改善を行う必要がある。				

17. 介護予防、生きがいのづくりの推進と居宅サービスの充実

【政策の概要】

政策の方向	①高齢者が地域で安心していきいきと生活できるよう、地域での見守り・助け合いの活動を支援するとともに、積極的な社会参加を促します。 ②誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう訪問・通所介護など居宅サービスの確保を図るとともに、介護老人福祉施設やグループホームなど、施設・居宅系サービスの充実に努めます。
主な事業	●垂水市社会福祉協議会補助事業 ●在宅福祉事業 ●老人保護措置事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考		
満足度		3.54	0.98	1/28	全体平均値：3.30		
重要度		4.43	0.77	4/28	全体平均値：4.12		
ニーズ値		0.89	—	10/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	I	重要度もニーズも高い	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	2	12	B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する
	女	1	9				
年齢別	若年層	3	9	高	↑	↓	重要度
	壮年層	1	9				
	高年層	2	11				
職業別	会社員	4	9	←	満足度	→	高
	自営業	7	11				
	公務員	5	10				
	農林水産業	9	26				
	パート	1	5				
	専業主婦	6	14				
	学生	3	12				
	無職	8	11				
	その他	2	7				
地区別	新城地区	6	15	←	満足度	→	高
	柊原地区	5	9				
	垂水地区	2	9				
	水之上・大野地区	1	9				
	協和地区	4	12				
	牛根地区全域	3	11				
世帯構成別	単身	5	10	←	満足度	→	高
	夫婦	4	10				
	親子	3	10				
	親・子・孫	1	7				
	その他	2	3				
	居住年数別	5年未満	3				
5～10年		2	15				
10～20年		1	9				
20年以上		4	10				
ニーズ分析結果	農林水産業を除く全ての属性において比較的ニーズが高い傾向にあり、職業別では、パートタイムの属性において非常にニーズが高い傾向である。						
評価結果	重要度は非常に高く、満足度は最も高いため、現在の水準を維持する政策となっている。引き続き現在の水準を維持していく必要がある。						

18. 障害者等福祉の充実

【政策の概要】

政策の方向	①障害者等の社会参加の促進や家族の負担軽減等を目的にした、障害福祉サービスの提供体制や相談支援体制の充実を図るとともに、障害者等の就業機会の確保や事業所への啓発等、障害者等の就労環境の整備及び充実を図ります。
主な事業	●障害者等の就労移行支援 ●障害児に対する支援事業 ●地域支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.38	0.89	10/28	全体平均値： 3.30
重要度		4.15	0.81	13/28	全体平均値： 4.12
ニーズ値		0.77	—	16/28	全体平均値： 0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	Ⅲ
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	20	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	15		
年齢別	若年層	3	15	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-weight: bold; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="text-align: center;"> <p style="margin: 0;">高 ↑</p> <p style="margin: 0;">↓ 低</p> </div> </div>	<p style="margin: 0;">← 低</p> <p style="margin: 0;">→ 高</p> <p style="margin: 0;">満足度</p>
	壮年層	1	15		
	高年層	2	19		
職業別	会社員	4	16		
	自営業	7	18		
	公務員	2	9		
	農林水産業	3	19		
	パート	5	16		
	専業主婦	6	22		
	学生	9	17		
	無職	8	15		
	その他	1	8		
地区別	新城地区	6	18		
	柘原地区	5	23		
	垂水地区	3	15		
	水之上・大野地区	1	14		
	協和地区	4	13		
	牛根地区全域	2	18		
世帯構成別	単身	3	16		
	夫婦	4	19		
	親子	2	15		
	親・子・孫	1	13		
	その他	5	14		
居住年数別	5年未満	1	12		
	5～10年	2	17		
	10～20年	4	19		
	20年以上	3	17		
ニーズ分析結果	職業別では、公務員においてニーズが高い傾向であった。				
評価結果	重要度、満足度ともに比較的高い傾向にあり、現在の水準を維持する政策であるが、更なる支援の充実や体制の整備に取り組む必要がある。				

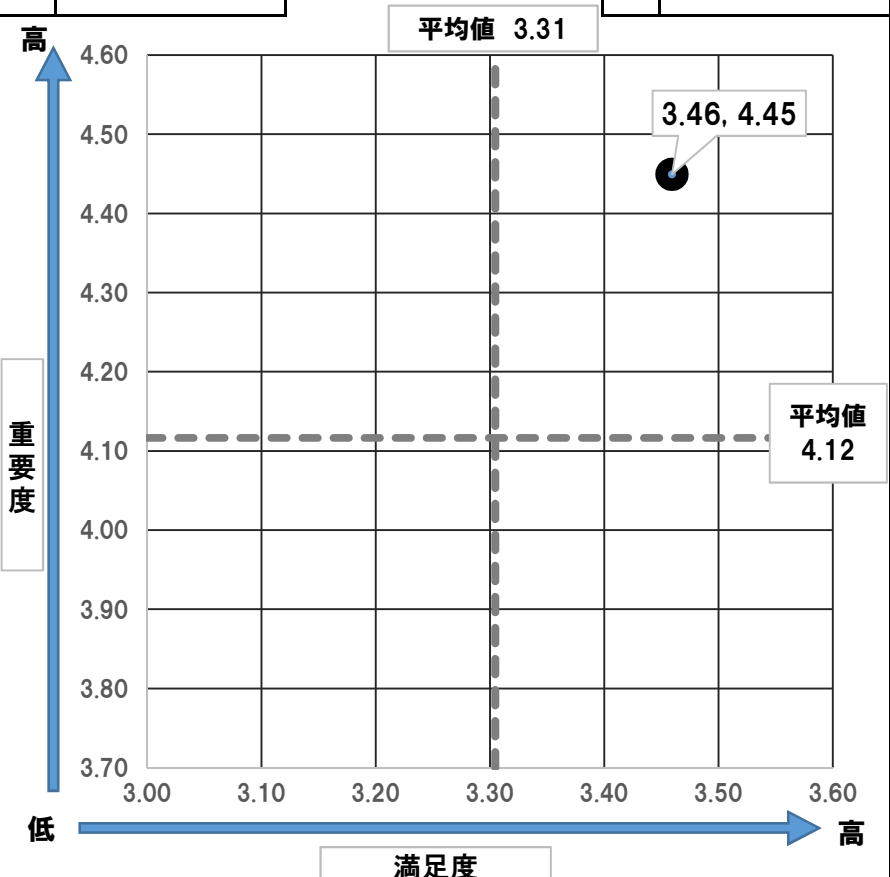
19. 地域防災力の向上

【政策の概要】

政策の方向	①災害発生時において、地域自ら迅速な対応ができるように、自助・共助（互助）意識の醸成とともに、行政、振興会、自主防災組織、関係機関の協働・連携体制の強化を図ります。
主な事業	●防災訓練の実施事業 ●防災活動等事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考		
満足度		3.46	1.03	4/28	全体平均値：3.30		
重要度		4.45	0.77	3/28	全体平均値：4.12		
ニーズ値		0.99	—	6/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	I	重要度もニーズも高い	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	1	6	B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する
	女	2	6				
年齢別	若年層	2	3	高	↑	重要度	↓
	壮年層	1	6				
	高年層	3	7				
職業別	会社員	4	4	3.70	↑	重要度	↓
	自営業	7	9				
	公務員	2	2				
	農林水産業	9	18				
	パート	6	12				
	専業主婦	3	5				
	学生	1	3				
	無職	8	5				
	その他	5	6				
地区別	新城地区	6	7	3.00	↑	重要度	↓
	柊原地区	5	4				
	垂水地区	4	7				
	水之上・大野地区	3	7				
	協和地区	2	4				
	牛根地区全域	1	4				
世帯構成別	単身	4	7	3.70	↑	重要度	↓
	夫婦	2	8				
	親子	1	5				
	親・子・孫	3	10				
	その他	5	7				
	居住年数別	5年未満	2				
5～10年		3	7				
10～20年		1	3				
20年以上		4	6				
ニーズ分析結果	農林水産業を除く各属性においてニーズが高い傾向であり、特に職業別では、公務員、若年層、また居住年数10年から20年の属性において非常に高い傾向にある。						
評価結果	重要度、満足度、ニーズ値の全てにおいて高い傾向である。近年全国的に多くの災害が発生したことや防災訓練の実施により、意識の向上につながっており、現在の水準を維持する必要がある。						



20. 災害に強い都市基盤の整備

【政策の概要】

政策の方向	①災害時における様々な資機材の備蓄や防災施設の維持・更新に取り組みます。 ②危険箇所の把握に努め、防災、減災に取り組みます。 ③住宅や公共・民間建築物の耐震性の向上に取り組みます。
主な事業	●防災情報システム整備事業 ●避難行動要支援者名簿作成事業 ●砂防事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.35	1.07	13/28	全体平均値：3.30
重要度		4.53	0.74	2/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		1.19	—	1/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	I 重要度もニーズも高い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	3	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	1	1		
年齢別	若年層	3	2	<p style="text-align: center;">高</p> <p style="text-align: center;">平均値 3.31</p> <p style="text-align: right;">3.35, 4.53</p> <p style="text-align: right;">平均値 4.12</p> <p style="text-align: center;">低</p> <p style="text-align: center;">満足度</p>	
	壮年層	1	3		
	高年層	2	1		
職業別	会社員	5	2		
	自営業	8	2		
	公務員	2	1		
	農林水産業	3	1		
	パート	6	2		
	専業主婦	4	2		
	学生	9	13		
	無職	7	1		
その他	1	1			
地区別	新城地区	6	2		
	柊原地区	5	3		
	垂水地区	3	1		
	水之上・大野地区	2	2		
	協和地区	4	2		
	牛根地区全域	1	2		
世帯構成別	単身	4	2		
	夫婦	2	1		
	親子	3	2		
	親・子・孫	1	1		
	その他	5	1		
居住年数別	5年未満	2	3		
	5～10年	1	3		
	10～20年	3	4		
	20年以上	4	1		
				D 現状維持、又はあり方について検討	C 改善の必要性が低い
ニーズ分析結果	全ての属性において非常にニーズが高い傾向にある。				
評価結果	重要度が非常に高く、満足度が比較的高いため現在の水準を維持する政策であるが、ニーズ値が最も高いことから、更なる改善が必要となる。				

21. 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応

【政策の概要】

政策の方向	①市道や農道等の早急な復旧・復興に取り組みます。 ②被災箇所に対して、国や県等の関係機関と迅速に協議し、早急な復旧・復興に取り組みます。被災後、飲料水等のライフラインを安定的に供給できるよう飲料水等の物資確保及び水道施設等の早急な復旧・復興に取り組みます。被災後、住宅が倒壊した市民等に、安心して暮らせる仮設住宅等を提供できるよう取り組みます。
主な事業	●治山事業 ●急傾斜崩壊対策事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考		
満足度		3.42	1.06	8/28	全体平均値：3.30		
重要度		4.58	0.69	1/28	全体平均値：4.12		
ニーズ値		1.16	—	2/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	I		
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	1	1	B	優先して改善の必要あり		
	女	2	2				
年齢別	若年層	3	4	高	重要度		
	壮年層	1	1				
	高年層	2	2				
職業別	会社員	3	3			低	満足度
	自営業	6	1				
	公務員	9	7				
	農林水産業	7	8				
	パート	5	4				
	専業主婦	2	3				
	学生	1	3				
	無職	8	2				
	その他	4	3				
地区別	新城地区	6	3	D	現状維持、又はあり方について検討		
	柘原地区	5	1				
	垂水地区	4	3				
	水之上・大野地区	3	4				
	協和地区	1	3				
	牛根地区全域	2	1				
世帯構成別	単身	4	4			C	改善の必要性が低い
	夫婦	2	2				
	親子	1	3				
	親・子・孫	3	2				
	その他	5	2				
居住年数別	5年未満	4	10	A	現在の水準を維持する		
	5～10年	1	4				
	10～20年	2	1				
	20年以上	3	2				
ニーズ分析結果	各属性においてニーズが高い傾向にあり、世帯構成別で見ると、全ての世帯構成において非常に高くなっている。						
評価結果	重要度が最も高く、満足度も高いため現在の水準を維持する政策であるが、ニーズ値も非常に高いことから、今以上に災害への迅速な対応が必要となる。						

22. 安心して暮らせる社会の構築

【政策の概要】

政策の方向	①交通安全意識の高揚と交通マナーの向上に向け、子どもと高齢者を中心にした交通安全対策を推進します。 ②複雑化及び高度化する消費者問題に対する相談体制の充実、警察及び関係機関との連携による情報ネットワークの活用を進め、消費者意識の啓発や正しい知識の普及に努め、消費者被害の未然防止と被害者救済に努めます。 ③市民の防災意識の高揚や消防活動に必要な資機材及び施設を計画的に整備し、災害対応能力の向上に努めます。 ④消防団への加入促進や消防団組織・活動を強化します。
主な事業	●交通事故防止対策事業 ●防犯対策事業 ●交通災害共済事業 ●消防団員適正化事業 ●消防本部車両整備事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.38	0.93	11/28	全体平均値：3.30
重要度		4.27	0.79	7/28	全体平均値：4.12
ニーズ値		0.88	—	11/28	全体平均値：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目			相対評価 I 重要度もニーズも高い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	10	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	10		
年齢別	若年層	2	5		
	壮年層	1	10		
	高年層	3	14		
職業別	会社員	2	8		
	自営業	9	14		
	公務員	7	19		
	農林水産業	5	15		
	パート	3	9		
	専業主婦	4	11		
	学生	1	6		
	無職	8	10		
その他	6	15			
地区別	新城地区	5	10		
	柁原地区	6	14		
	垂水地区	3	12		
	水之上・大野地区	2	15		
	協和地区	1	9		
世帯構成別	牛根地区全域	4	6		
	単身	3	8		
	夫婦	4	16		
	親子	2	9		
居住年数別	親・子・孫	1	4		
	その他	5	15		
	5年未満	3	13		
	5～10年	1	9		
	10～20年	2	8		
	20年以上	4	12		
				D 現状維持、又はあり方について検討	C 改善の必要性が低い
ニーズ分析結果	男女別、年齢別、住居年数別の各属性において比較的ニーズが高く、親・子・孫の世帯や牛根地区全域においても高い傾向である。				
評価結果	重要度は高く、満足度およびニーズ値も比較的高いことから、現在の水準を維持する政策であるが、高齢化の進む本市でも、交通安全や地域防災における課題もありことから、今後も改善が必要となる。				

23. 環境美化の推進

【政策の概要】

政策の方向	①美しい自然環境保全に向け、ごみの不法投棄を防止し、市民の環境美化に関する意識の向上と活動の推進を図ります。
主な事業	●垂水市地球温暖化防止実行計画推進事業 ●環境センター維持管理事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.44	0.93	7/28	全体平均値： 3.30
重要度		4.21	0.80	11/28	全体平均値： 4.12
ニーズ値		0.77	—	15/28	全体平均値： 0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	Ⅲ 重要度は高いがニーズは低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	18	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	16		
年齢別	若年層	3	21	<p style="text-align: center;">高</p> <p style="text-align: center;">平均値 3.31</p> <p style="text-align: center;">3.44, 4.21</p> <p style="text-align: center;">平均値 4.12</p> <p style="text-align: center;">低</p> <p style="text-align: center;">満足度</p>	
	壮年層	2	18		
	高年層	1	15		
職業別	会社員	7	21		
	自営業	6	13		
	公務員	9	26		
	農林水産業	1	17		
	パート	2	14		
	専業主婦	5	15		
	学生	3	13		
	無職	8	12		
その他	4	18			
地区別	新城地区	6	16		
	柊原地区	5	16		
	垂水地区	3	16		
	水之上・大野地区	1	20		
	協和地区	2	18		
	牛根地区全域	4	10		
世帯構成別	単身	5	18		
	夫婦	3	17		
	親子	4	17		
	親・子・孫	1	12		
	その他	2	11		
居住年数別	5年未満	4	24		
	5～10年	3	23		
	10～20年	2	16		
	20年以上	1	14		
ニーズ分析結果		職業別では、自営業、パートタイマー、無職の属性で比較的ニーズが高い傾向にあり、牛根地区全域や居住年数20年以上の属性においても比較的高い傾向にある。			
評価結果		重要度と満足度が比較的高く、ニーズ値は比較的低いことから、現在の水準を維持する必要がある。			

24. 生活排水処理対策と河川、海の水質保全の推進

【政策の概要】

政策の方向	①合併処理浄化槽設置の支援と普及を促進するとともに、市民への生活排水の適正な処理の重要性について啓発活動を推進します。
主な事業	●錦江湾クリーンアップ作戦事業 ●潮彩町排水処理施設維持管理事業

【分析結果】

		平均值	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.33	0.92	15/28	全体平均值：3.30
重要度		4.20	0.83	12/28	全体平均值：4.12
ニーズ値		0.86	—	12/28	全体平均值：0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	I 重要度もニーズも高い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	9	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	12		
年齢別	若年層	3	17	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-weight: bold;">重要度</div> <div style="margin-left: 10px;"> </div> </div>	高 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低
	壮年層	1	13		
	高年層	2	9		
職業別	会社員	5	14		
	自営業	1	4		
	公務員	6	13		
	農林水産業	4	14		
	パート	3	11		
	専業主婦	7	18		
	学生	9	16		
無職	8	9			
その他	2	11			
地区別	新城地区	6	22		
	柊原地区	5	10		
	垂水地区	2	11		
	水之上・大野地区	1	11		
	協和地区	4	10		
	牛根地区全域	3	14		
世帯構成別	単身	5	11		
	夫婦	2	9		
	親子	4	13		
	親・子・孫	1	9		
	その他	3	6		
居住年数別	5年未満	3	18		
	5～10年	1	11		
	10～20年	4	13		
	20年以上	2	11		
満足度			高		
			低		
			D 現状維持、又はあり方について検討	C 改善の必要性が低い	
ニーズ分析結果	男女別、世帯構成別の全ての属性において比較的ニーズが高い傾向であり、自営業者においては非常に高い傾向にある。				
評価結果	重要度、満足度及びニーズ値において比較的高い傾向にあり、現在の水準を維持する必要がある。				

25. ごみ処理対策の推進

【政策の概要】

政策の方向	①ごみの分別方法の周知等を更に推進し、ごみの排出抑制と再資源化に努めます。
主な事業	●ごみ資源化率向上対策事業 ●ごみ不法投棄防止事業 ●浄化槽設置整備事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.51	1.04	3/28	全体平均値： 3.30
重要度		4.29	0.81	6/28	全体平均値： 4.12
ニーズ値		0.78	—	14/28	全体平均値： 0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	Ⅲ 重要度は高いがニーズは低い
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	17	B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
	女	2	14		
年齢別	若年層	3	24	高 ↑	↓ 低
	壮年層	1	11		
	高年層	2	21		
職業別	会社員	6	18	重要度 ↑	↓ 低
	自営業	1	5		
	公務員	5	13		
	農林水産業	4	15		
	パート	3	13		
	専業主婦	7	20		
	学生	9	17		
	無職	8	18		
	その他	2	14		
地区別	新城地区	6	13	重要度 ↑	↓ 低
	柊原地区	5	15		
	垂水地区	3	18		
	水之上・大野地区	1	13		
	協和地区	2	19		
	牛根地区全域	4	8		
世帯構成別	単身	3	14	重要度 ↑	↓ 低
	夫婦	1	13		
	親子	4	18		
	親・子・孫	2	14		
	その他	5	13		
居住年数別	5年未満	3	17	重要度 ↑	↓ 低
	5～10年	1	14		
	10～20年	2	11		
	20年以上	4	18		
ニーズ分析結果	年齢別では壮年層でニーズが高く、職業別では自営業の属性においてニーズが高い傾向にある。				
評価結果	重要度、満足度ともに非常に高いがニーズ値は比較的低いため、現在の水準を維持する必要がある。				

満足度 ↑

重要度 ↓

26. 省エネルギー、再生可能エネルギーの推進

【政策の概要】

政策の方向	①省エネルギーの導入、再生可能エネルギーの制度について情報把握に努め、市民や事業者のエネルギーに対する理解・意識の向上を図るとともに、関連する設備導入を推進し、市民生活への普及を図ります。
主な事業	●省・再生可能エネルギー普及促進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考		
満足度		3.08	0.85	26/28	全体平均値： 3.30		
重要度		3.78	0.91	27/28	全体平均値： 4.12		
ニーズ値		0.71	—	21/28	全体平均値： 0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV	重要度もニーズも低い	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	1	21	B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する
	女	2	20				
年齢別	若年層	2	18	高	↑	重要度	↓
	壮年層	3	22				
	高年層	1	17				
職業別	会社員	5	20	3.08, 3.78	満足度	→	高
	自営業	6	16				
	公務員	9	27				
	農林水産業	2	7				
	パート	7	20				
	専業主婦	4	19				
	学生	1	7				
	無職	8	22				
	その他	3	19				
地区別	新城地区	5	23	3.31	→	高	↑
	柘原地区	6	25				
	垂水地区	2	20				
	水之上・大野地区	1	12				
	協和地区	3	22				
	牛根地区全域	4	17				
世帯構成別	単身	3	20	4.12	→	高	↑
	夫婦	2	18				
	親子	5	22				
	親・子・孫	4	20				
	その他	1	9				
	居住年数別	5年未満	1				
	5～10年	4	25				
	10～20年	2	17				
	20年以上	3	21				
ニーズ分析結果	水之上・大野地区を除く各地区ではニーズが低い傾向にあり、男女別、年齢別においてもニーズが低い傾向にある。						
評価結果	重要度、満足度ともに非常に低い政策であり、現状維持、又はあり方について検討が必要とされるが、再生可能エネルギー政策については世界的に抱える問題であることから、今後も取り組む必要がある。						

27. 快適な居住環境の整備

【政策の概要】

政策の方向	①既存住宅の耐震性向上を図ります。 ②豊かな自然や地域の特性、地域振興計画等も踏まえ、多様なニーズに対応した快適で利用しやすい公園の整備・維持管理に努めます。 ③空き家の発生抑制と空き家の所有者に対して適正管理を促します。また、周辺的生活環境に影響を及ぼす空き家については所有者へ解体・撤去に努めるようお願いするとともに、利用できる空き家については、空き家バンクへの登録を進め、移住・定住推進に活用します。 ④今後老朽化する公共施設について、インフラ長寿命化計画（個別施設計画）を作成し、施設の機能強化を図るとともに、トータルコストの縮減・平準化に努めます。 ⑤耐用年限を超過している老朽化が著しい公営住宅の建替えによる安全性確保に努めます。 ⑥効率的な水道施設の再構築のため、施設の計画的更新や耐震化を図ります。
主な事業	●定住促進事業 ●民間資金活用集合住宅建設促進事業 ●空家等対策 ●集落水道維持管理 ●市道等整備及び道路維持事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.05	0.95	27/28	全体平均値： 3.30
重要度		4.03	0.88	16/28	全体平均値： 4.12
ニーズ値		0.98	—	7/28	全体平均値： 0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	II
ニーズ分析					
		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	4	B	優先して改善の必要あり
	女	2	8		
年齢別	若年層	3	14	高	A
	壮年層	1	8		
	高年層	2	5		
職業別	会社員	7	10	重要度	現在の水準を維持する
	自営業	6	3		
	公務員	4	3		
	農林水産業	3	6		
	パート	8	10		
	専業主婦	5	7		
	学生	2	8		
	無職	9	8		
その他	1	2			
地区別	新城地区	6	14	満足度	D
	柊原地区	4	6		
	垂水地区	3	8		
	水之上・大野地区	1	3		
	協和地区	5	6		
	牛根地区全域	2	13		
世帯構成別	単身	3	6	低	C
	夫婦	1	4		
	親子	4	8		
	親・子・孫	2	6		
	その他	5	8		
居住年数別	5年未満	1	2	高	現状維持、又はあり方について検討
	5～10年	2	6		
	10～20年	3	6		
	20年以上	4	7		
ニーズ分析結果		全ての項目、属性においてニーズが高い傾向にあり、特に居住年数5年未満の属性、自営業、公務員の属性、水之上地区・大野地区においては非常にニーズが高くなっている。			
評価結果		重要度は比較的低く、満足度は非常に低いため現状維持、又はあり方について検討が必要とされるが、ニーズ値は高い傾向にあることから、今後も改善して取り組む必要がある。			

28. 交通の利便性の向上

【政策の概要】

政策の方向	①計画的な市道整備、道路維持事業を進めるとともに、公共交通(路線バス・乗合タクシー)については、補助事業であり、広域的な連携も必要なことから課題等について必要に応じ関係機関と協議し、運行の適正化を図ります。
主な事業	●総合交通対策事業 ●交通安全対策事業 ●橋梁長寿命化事業 ●中央地区雨水対策事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考		
満足度		3.12	1.03	24/28	全体平均値： 3.30		
重要度		4.13	0.84	15/28	全体平均値： 4.12		
ニーズ値		1.01	—	5/28	全体平均値： 0.81 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	B	優先して改善を要する項目		相対評価	I	重要度もニーズも高い	
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	2	5	B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する
	女	1	5				
年齢別	若年層	3	11	高	↑	重要度	↓
	壮年層	1	5				
	高年層	2	4				
職業別	会社員	3	5	低	←	満足度	→
	自営業	7	10				
	公務員	9	16				
	農林水産業	8	20				
	パート	5	8				
	専業主婦	2	1				
	学生	1	2				
	無職	6	3				
	その他	4	9				
地区別	新城地区	5	1	D	現状維持、又はあり方について検討	C	改善の必要性が低い
	柊原地区	6	12				
	垂水地区	4	6				
	水之上・大野地区	3	8				
	協和地区	2	1				
	牛根地区全域	1	3				
世帯構成別	単身	3	5	高	↑	重要度	↓
	夫婦	2	5				
	親子	1	7				
	親・子・孫	5	18				
	その他	4	5				
居住年数別	5年未満	1	6	低	←	満足度	→
	5～10年	3	8				
	10～20年	2	5				
	20年以上	4	4				
ニーズ分析結果	男女別、年齢別、住居年数別の各属性においてニーズが高い傾向にあり、特に職業別では、専業主婦、無職の属性において非常に高く、地区別では新城地区、協和地区において非常にニーズが高い傾向にある。						
評価結果	重要度は低く、満足度は非常に低い政策であり、現状維持、又はあり方について検討が必要とされるが、ニーズ値は高い傾向にあることから、今後より満足度を高められるような取組が必要である。						

3. 今後の居住志向

前回の調査に引き続き、設問29に「あなたは今後も、垂水市に住み続けたいと思いますか？」を設け、「思う」から「思わない」の5段階評価とその理由を尋ねた。

集計結果については、次のとおりである。

(1) 回答状況

		5 : 思う	4 : どちらかといえ ばそう思う	3 : どちらとも いえない	2 : どちらかといえ ばそう思わない	1 : 思わない
回答者数	R1	314件	164件	192件	56件	32件
	H28	366件	205件	176件	57件	26件
回答割合	R1	41.4%	21.6%	25.3%	7.4%	4.2%
	H28	44.1%	24.7%	21.2%	6.9%	3.1%
	差	▲2.7%	▲3.1%	4.1%	0.5%	1.1%

(2) 回答者属性別の集計結果

居住志向についても、男女別、年齢別、職業別、地区別、世帯構成別、居住年数別の6属性ごとに分析を行い、平均値を算出した。分析結果は、次のとおりである。

全体平均		
R1	H28	差
3.89	4.00	▲1.01

	項目	平均値
男女別	男	3.90
	女	3.85

	項目	平均値
年齢別	若年層	3.26
	壮年層	3.53
	高年層	4.20

	項目	平均値
職業別	会社員	3.60
	自営業	4.09
	公務員	3.54
	農林水産業	4.52
	パート・アルバイト	3.63
	専業主婦(主夫)	3.84
	学生	3.83
	無職	4.16
その他	4.00	

	項目	平均値
地区別	新城	3.74
	柁原	4.19
	垂水	3.84
	水之上・大野原	3.80
	協和	4.04
	牛根地区全域	3.80

	項目	平均値
世帯構成別	単身	3.87
	夫婦	4.09
	親子	3.68
	親・子・孫	3.90
	その他	3.96

	項目	平均値
居住年数別	5年未満	3.55
	5～10年	3.49
	11～20年	3.52
	21年以上	3.99

(3) 自由意見記入状況

自由意見は、合計298人が評価の理由を記入している。その主な理由をキーワード設定して整理した。

主な理由	5 思う	4 どちらかと言え ばそう思う	3 どちらとも言 えない	2 どちらかと言 えばそう思 わない	1 思わない	未記入	合計
生まれ育ったまち（故郷）だから	55	20	4	0	0	0	79
住みやすい（住み慣れた）	22	7	1	1	0	1	32
自然環境（自然の恵み）	7	7	3	0	0	0	17
垂水市が生活基盤	19	6	5	0	1	0	31
地域の絆（人情）	11	0	0	0	0	0	11
高齢化	4	1	4	2	0	0	11
垂水市が好き	9	0	1	0	0	0	10
交通環境	1	3	7	4	3	0	18
医療・介護・福祉の環境	0	2	9	3	0	0	14
商業環境	0	0	4	3	1	0	8
税金関係	1	1	1	2	1	0	6
教育環境	0	1	0	1	0	0	2
自然災害・防災関係	0	2	2	4	0	0	8
住環境（ゴミ等）	2	0	0	0	0	0	2
雇用関係	0	5	3	2	3	0	13
理由なし	1	1	2	0	0	0	4
その他	0	7	12	6	7	0	32
件数 （比率）	132 (44.30%)	63 (21.14%)	58 (19.46%)	28 (9.40%)	16 (5.37%)	1 (0.34%)	298 (100.00%)
	65.44%		19.46%	14.77%		0.34%	100.00%

(4) 評価・分析まとめ

①回答状況について(37ページ参照)

平成28年調査時と比較して、「住み続けたいと思う」の割合は2.7%低下し、「どちらかといえばそう思う」は3.1%低下している。一方、「どちらかといえばそう思わない」の割合は0.5%上昇し、「住み続けたいと思わない」は1.1%上昇している。また「どちらともいえない」の割合が4.1%上昇している。この結果、「居住志向がある(5・4を選択)」とした人が、合計478人(63.0%)、「居住志向がない(2・1を選択)」とした人が、合計88人(11.6%)という結果となった。

②回答者属性別の集計結果について(37ページ参照)

回答者属性別の平均値を算出してみると、年齢別は「高年層」になるに連れての居住志向が強まっており、職業別では、自営業と農林水産業において平均値が高くなっており、本市で職業に応じた資産形成されていることに伴う居住志向が反映されていると推測される。地区別の項目を見てみると、「柘原地区」が最も高くなっている。

③自由意見記入状況について(38ページ参照)

居住志向がある回答者の主な理由の傾向は、「生まれ育ったまち・ふるさと」・「住みやすい」・「自然環境が良い」という意見が多数であった。

一方、居住志向がない回答者の傾向は、「交通ネットワークへの不満」や「高齢化社会における医療・介護等への不安」「働く場の不足、雇用への不満」といった意見がある。

なお、記入された意見の主なものを掲載しており、自由意見については、意見の原文を、別途「令和元年度市民満足度調査結果報告書 資料集」としてまとめる。

④まとめ

回答結果のうち「住み続けたいと思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合は、全体の約6割を占めており、居住志向は高いと言える。

しかし、前述のとおり、「垂水市に住み続けたいと思う」と考える割合が減少しており、全体の平均値も減少していることから、住み続けたいと思わない理由として挙げられたことに対して改善を行い、居住志向を高めていく取組みが必要である。

4. 令和元年度市民満足度調査総括

令和元年度の市民満足度調査では、本市の長期指針として平成30年からの10年間の展望し、策定された第5次垂水市総合計画のもと、政策別に分析、評価を行い、今後の施策推進のための方向性等を示すことで、基本計画や実施計画に反映されることを期待している。

ここでは、総括として、上記の結果から優先し重点化して取り組んでいく政策についてまとめる。

なお、政策ごとに詳細な分析を行いたい場合には、本データを配布できるので、更なる政策の確実な実行に役立てていただきたい。

(1) 調査全般に関する評価

前回調査に引き続き、各振興会長に協力をいただくことで比例配分法での調査を実施し、前回調査と比較すると回収率が若干減少しているが、今回調査においては、配布数の8割を超える回答があった。

今回の調査は、28の政策展開ごとに評価を行い、9つの政策ごとに自由意見を求める方式で実施した。政策分析と回答者の負担軽減を図るため、28の政策で重要度、満足度の評価をいただき、9つの政策区分で意見記述をいただいた。そのことから、自由意見で調査負担に関する記述は少なかった。しかしながら、回収率、回答率が若干減少していることから、より多くの市民ニーズを捉えるために、調査方法の更なる改善が必要である。

(2) 全体分析における政策評価（令和元年度市民満足度調査分）

一般的に政策の重要度が高く、満足度が低いものは、早急に対策を講ずるべきという判断がなされる。設定したニーズ値は、この重要度と満足度の差であり、これを社会的ニーズとして定義している。

●ニーズ値の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／ニーズ値（重要度－満足度）

順位	政策名	ニーズ値	重要度順位	満足度順位
1位	20. 災害に強い都市基盤の整備	1.185	2位	13位
2位	21. 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	1.161	1位	8位
3位	11. 就労の促進と多様な働き方の支援	1.142	9位	25位
4位	12. 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進	1.017	5位	17位
5位	28. 交通の利便性の向上	1.006	15位	24位
6位	19. 地域防災力の向上	0.990	3位	4位
7位	27. 快適な居住環境の整備	0.977	16位	27位
8位	13. 生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成	0.923	10位	16位
9位	10. 市内産業の振興と企業誘致の推進	0.899	14位	19位
10位	17. 介護予防、生きがいづくりの推進と居宅サービスの充実	0.893	4位	1位

●重要度の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／重要度

順位	政策名	重要度 平均値	二ーズ値 順位	満足度順位
1位	21. 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	4.579	2位	8位
2位	20. 災害に強い都市基盤の整備	4.531	1位	13位
3位	19. 地域防災力の向上	4.449	6位	4位
4位	17. 介護予防、生きがいつくりの推進と居宅サービスの充実	4.431	10位	1位
5位	12. 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進	4.314	4位	17位
6位	25. ごみ処理対策の推進	4.290	14位	3位
7位	22. 安心して暮らせる社会の構築	4.268	11位	11位
8位	16. 健康づくりの推進と医療体制の充実	4.256	20位	2位
9位	11. 就労の促進と多様な働き方の支援	4.242	3位	25位
10位	13. 生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成	4.237	8位	16位

●満足度の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／満足度

順位	政策名	満足度 平均値	二ーズ値 順位	重要度順位
1位	17. 介護予防、生きがいつくりの推進と居宅サービスの充実	3.538	10位	4位
2位	16. 健康づくりの推進と医療体制の充実	3.524	20位	8位
3位	25. ごみ処理対策の推進	3.506	14位	6位
4位	19. 地域防災力の向上	3.459	6位	3位
5位	6. 水産業における產品の高付加価値化	3.447	25位	20位
6位	15. 歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用と芸術文化活動の推進	3.442	28位	25位
7位	23. 環境美化の推進	3.440	15位	11位
8位	21. 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	3.418	2位	1位
9位	5. 水産業における経営基盤確立による経営規模の拡大	3.395	24位	19位
10位	18. 障害者等福祉の充実	3.384	16位	13位

(3) まちづくりの進め方について

第5次垂水市総合計画を実現していくための「まちづくりの進め方」に関する回答について検証を行った。

	まちづくりの進め方	ニーズ値	重要度	満足度
1	市民と行政の協働によるまちづくり	0.628	3.870	3.241
2	健全で安定した行財政運営の推進	0.704	3.971	3.267
3	隣接市等との広域連携の推進	0.820	4.042	3.222

ニーズ値及び重要度の平均値は、「3 隣接市等との広域連携の推進」において高い傾向にあります。また、自由意見の中でも「広域交通ネットワーク」及び「人口減少対策」に関する記述が多く見られ、市民の関心及びニーズの高さが伺える。

このことから、医療や福祉、教育や防災、商業など多くの分野において近隣自治体と連携を高めるとともに、錦江湾横断道路実現を含む市民生活の利便性を確保するための「広域交通ネットワーク」の整備を推進するとともに、現在、本市の重点プロジェクトに掲げる「まち・ひと・しごとの創生」による「雇用、移住定住、結婚・出産・子育て支援、地域連携」に関連する事業を推進し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、持続性のあるまちづくりを進めていく必要がある。

(4) まとめ～令和元年度市民満足度調査から見える優先し重点化して取り組む政策～

これらの結果から、第5次垂水市総合計画に掲げた「まちづくり」の基本目標ごとに優先し取り組む政策をニーズ値の高い順に2政策ずつ掲げる。

なお、ここに掲げた政策は、今後の第5次垂水市総合計画基本計画、実施計画に反映されるべきものであると考えられることから、継続して取り組む必要がある。

まちづくりの分野	基本計画の政策名
産業振興 ～地域資源を活かした賑わいのあるまち～	11 就労の促進と多様な働き方の支援
	10 市内産業の振興と企業誘致の推進
教育文化 ～次世代の担い手を育成・支援するまち～	12 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進
	13 生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成
安心安全・健康福祉 ～安心していきいきと暮らせるまち～	20 災害に強い都市基盤の整備
	21 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応
生活環境 ～豊かな自然の恵みを次世代に受け継ぐまち～	27 快適な居住環境の整備
	24 生活排水処理対策と河川、海の水質保全の推進

今回調査においては政策分析と回答者の負担軽減を図るため、28の政策展開で重要度、満足度の評価をいただき、9つの政策区分で意見記述をいただいた。結果として、配布数の約8割の回答がありましたが、前回の調査と比較すると回収率が若干減少しています。今後、より多くの市民ニーズを捉えるために、政策に関する意識の向上に努める必要がある。

結果分析としましては、前回調査において重要度及びニーズ値が最も高かった「医療体制の充実」に該当する項目は、今回の調査で、満足度が非常に高く、要因として平成29年度より始まった「たるみず元気プロジェクト」の効果が考えられます。そして、今回の調査で重要度及びニーズ値が上位となりました「災害に強い都市基盤の整備」「災害後の復旧・復興対策の迅速な対応」は度重なる台風や長雨による全国的な災害が影響し、意識の向上に繋がったものと考えられる。

